

「Bリーグと共存のホームタウン・栃木SC」

2023年8月13日 J2リーグ第30節 栃木SC VS 徳島ヴォルティス
19:00 KO カンセキスタジアムとちぎ 観衆5865名 天候 晴れ

1、B1リーグとJ2リーグ共存の街

お盆休み真っ只中の8月13日、宇都宮にやって来ました。JR宇都宮駅に着くと2週間後に開業する新世代型路面電車・宇都宮ライトレールのポスターやバナーが多数掲げられており、市民の期待の大きさを感じます。JR宇都宮駅から東武宇都宮駅までの間が宇都宮で最も賑わっているところですが、栃木SCとB1リーグ・宇都宮ブルックスのポスターが隣り同士に並んで貼られているお店をよく見かけました。後ほどボランティアの方に「どちらが人気があるのですか？」と伺ったところ「互いにシーズンがずれて、試合がかぶることが少ないのでどちらも応援してますよ」と語ってくれました。ライバルというよりも共存のようです。

宇都宮一のアーケード街・オリオン通りで名物の焼きそばと餃子で腹ごしらえをしました。餃子はもちろんですが、太麺の焼きそばのほうがインパクトがあり、B級グルメ派の私には大満足でした。

2、丸みのある屋根の新スタジアム

東武宇都宮駅から電車で10分ほど東京寄りにある西川田駅から歩いて15分ほどのところにカンセキスタジアムがあります。

スタジアム周辺は運動公園になっていて、途中遊園地もあり観覧車に乗ってスタジアムが一望できました。丸みの帯びている屋根がヨーロッパのスタジアムのように、普段見慣れている日産スタジアムの角ばった重厚さとは対照的な「柔らかさ」を感じました。外周も芝生になっていて、開門を待ちわびているお客様がピクニック気分を楽しんでいました。またゲートがガラス張りになっていて、チケットがなくても試合の雰囲気は味わえそうです。

3、雷都ならではのミーティング

栃木SCボランティアも登録制になっていて、試合前日には詳しい資料がメールで送られてきました。KOの3時間半前の15時30分にボランティアの全体朝礼があり、クラブのボランティア担当社員の方から説明がありました。当日はフルタイム37名、ショートタイム（KOまでの活動）15名の皆さんと活動が始まります。

お盆休み中ということもあり帰省中にボランティアに参加している方もいらっしゃいました。ミーティングでは雷予報も伝えられ「ボランティアの方はまずこの控室に戻り、お客様の誘導等はなさないで下さい」といった雷都・宇都宮らしいことも話されていました。

その後配属先ごとに分かれて移動します。配置先は「関係者受付（3名）」「カメラマン

(1名)」「ゲート(22名3ゲートの計)」「イベント(5名)」「ピッチサイドシート案内(2名)」「グッズ売店(12名2カ所の計)」「総合案内(6名)」と分かれていています。

私はAゲートという指定席エリアでのマッチデー配布とうちわの配布、再入場券配布場所前での誘導、ハーフタイムにはエコステーションで持ち込まれたゴミを集積場所に運ぶ内容です。

4、気配り目配り上手なリーダー

Aゲートは計8名でリーダーの方から説明を受け、「配置先でお友達同士一緒にやりたい方はいますか」「休憩を先に取りたい方はいますか」ととても気配りをされていました。またアルバイトの方が困っているのを見かけたらすぐに社員のところに声をかけるなどして、非常に気配り、目配りをされておりました。正にボランティアのお手本となるようなリーダーの方でした。

2時間前に先行入場が、2時間前には一般の方の入場が始まりました。来場者の客層はお子さんからご年配の方まで幅広く、ユニフォームやクラブエンブレムの入ったTシャツを着た方が多く、すっかり地域に根付いているクラブと感じました。

5、ボランティア専用の観戦席

ゲート担当はKO後はハーフタイムを除き、休憩時間なので、前半はお弁当をいただいたあとコンコースを一周してみました。グッズ売店は完全にキャッシュレスになっておりましたが、以前はボランティアの方が現金の収受をしていたそうです。後半はボランティアの方と一緒に観戦しました。ホーム自由席の後部座席がボランティア専用となっていて、ビブスを着用したままで楽しく観戦させていただきました。リーダーも試合中はサポータに早変わりしていたのはいうまでもありません。専用席があれば、ボランティア同士の会話もはずみ、いいなと思いました。

普段J3の運営に携わっているのでJ2の来場者数の多さやイベントの演出などの「華やかさ」や新しいスタジアムならではの音響の響きの良さを感じました。終礼まで参加しなかったのですが、時間が間に合わずJR雀宮駅までシャトルバス経由で帰京いたしました。このバスはボランティアの方は乗車券を支給されるので無料で乗車することができます。なお試合終了後はエコステーションで集めたゴミお集積場所に運び、終礼解散だそうです。

6、KOまでのショートタイムの活用を

最近ハーフあるいはショートとってKOまで活動、その後は観戦というパターンをあらかじめ用意して選択できるクラブが増えています。ボランティアの人出不足というクラブが多いようですが、これなら観戦と活動でホームのクラブを2倍応援することができます。もちろんフルタイムの方とのバランスや交通費等の支給などクリアしなければならない課題もありますが、試合中は活動業務が減ってくるのが一般的ですので、他のクラブでも

もっと採り入れればと思いました。

また同じ配置先にいたため、他の配置先の様子はほとんど把握できませんでしたが、機会を作ってまたお伺いしたいです。ありがとうございました。

◇栃木SCギャラリー



↑今日の試合告知バナーがあるJR宇都宮駅前



↑宇都宮名物 太麺やきそばと餃子



↑観覧車から眺めるカンセキスタジアム



↑バックスタンドには左右にいちごが



↑ボランティア用の観戦席



↑ガラス張りのゲート